



KYODO PAPER HOLDINGS



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月7日

上場会社名 株式会社共同紙販ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9849 URL https://www.kyodopaper.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 郡司 勝美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 木村 純也 TEL 03-5826-5171
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	13,224	△16.0	4	△97.1	16	△90.5	39	△61.9
2020年3月期	15,748	1.8	154	40.4	177	31.8	103	△35.5

(注) 包括利益 2021年3月期 43百万円 (△1.9%) 2020年3月期 43百万円 (△72.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	58.80	—	1.1	0.2	0.0
2020年3月期	154.87	—	3.0	2.0	1.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △0百万円 2020年3月期 △0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	8,451	3,497	41.4	5,221.58
2020年3月期	8,806	3,487	39.6	5,207.25

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,496百万円 2020年3月期 3,486百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	98	735	△33	1,536
2020年3月期	132	△53	△32	735

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	33	32.3	1.0
2021年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	33	85.0	1.0
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		47.8	

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	2.1	50	—	70	312.3	50	27.0	74.67

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	735,344株	2020年3月期	735,344株
② 期末自己株式数	2021年3月期	65,767株	2020年3月期	65,756株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	669,582株	2020年3月期	667,465株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	13,230	△15.9	△15	—	△11	—	19	△77.8
2020年3月期	15,741	1.8	136	59.5	151	48.1	86	△31.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	28.83	—
2020年3月期	130.02	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年3月期	8,504	3,428	3,428	3,438	40.3	5,119.98	5,135.63	
2020年3月期	8,882	3,438	3,438	3,438	38.7	5,135.63	5,135.63	

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,428百万円 2020年3月期 3,438百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況 ② 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
品目別売上高	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化し、経済活動が大きく抑制されて極めて厳しい環境が続きました。

国内紙流通業界におきましても、各種イベントの中止や規模縮小が相次ぐ中、チラシ・パンフレット等の印刷用紙需要が大幅に減少し、急速なデジタル化の進展と併せて一層厳しさを増しております。

このような状況下で当社グループは、顧客への訪問が制限される中、テレワークや時差出勤・Webの活用など感染予防を徹底しながら営業活動を展開してまいりました。

売上高は、下期に若干持ち直しを見せましたが、上期の落ち込みを埋めるに至らず前年を大きく下回りました。利益面では、物流子会社の利益改善や所有不動産及び有価証券の売却益を計上したものの、売上高の減少影響を補うことができず大幅な減益となりました。

当連結会計年度の経営成績は、売上高13,224百万円（前年同期比16.0%減）、営業利益4百万円（前年同期比97.1%減）、経常利益16百万円（前年同期比90.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益39百万円（前年同期比61.9%減）となりました。

売上高をセグメント別にみますと、洋紙卸売事業が13,109百万円（前年同期比16.1%減）、不動産賃貸事業が121百万円（前年同期比0.4%減）、物流事業が278百万円（前年同期比15.4%減）となりました。

② 今後の見通し

今後、新型コロナウイルスのワクチンの普及や政府による財政支援策等により経済活動が段階的に引き上げられていく一方で、新たな変異株の発生により感染再拡大が起きるなど、引き続き厳しい社会・経済環境が続くものと予想されます。

国内紙流通業界も電子媒体へのシフトが更に加速し紙需要の減少基調は一層厳しさが増していくと思われま

す。当社グループは、顧客・取引先・従業員及びその家族の安全を最優先とし、引き続き感染拡大防止に努めてまいります。また、終息後の紙需要を迅速に捉え新たな紙の可能性を追求するとともに、印刷用紙以外の商材開拓にも積極的に取り組み、将来のマーケットに十分な準備と体制を整えてまいります。物流事業におきましても、効率的な営業活動により外部顧客の需要を取り込み、グループ全体で連携をして企業価値向上に邁進してまいります。

2022年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり計画しております。

売上高	13,500百万円
営業利益	50百万円
経常利益	70百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	50百万円

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
資産	8,806	8,451	△354
負債	5,319	4,954	△364
純資産	3,487	3,497	9
自己資本比率	39.6%	41.4%	1.8%

- ・資産は前連結会計年度比354百万円減少しましたが、これは主に、売上債権が122百万円、商品が208百万円及び有形固定資産が693百万円減少し、現金及び預金が800百万円増加したためであります。
- ・負債は前連結会計年度比364百万円減少しましたが、これは主に、仕入債務が348百万円減少したためであります。
- ・純資産は前連結会計年度比9百万円増加しましたが、これは主に、利益剰余金が5百万円増加したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前年同期に比べ800百万円増加し、1,536百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は98百万円（前年同期は132百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上、売上債権及び仕入債務の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は735百万円（前年同期は53百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産及び投資有価証券の売却によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は33百万円（前年同期は32百万円の使用）となりました。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主の皆様のご期待に応えるため、経営基盤の強化と収益力向上に努めてまいります。

利益配分につきましては、業績状況を勘案した上で可能な限り安定した配当を維持していく方針であります。

当社の剰余金の配当は期末配当の年1回を基本としておりますが、当社は会社法第459条第1項に基づき、取締役会の決議によって「基準日を定めて剰余金の配当をすることができる」旨を定款に定めております。

これらの方針に基づき、当期の期末配当金につきましては、1株につき50円とさせていただきます。（連結配当性向85.0%）

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は日本国内に限定されており、海外での拠点がないことから、利害関係者の多くは国内の株主・債権者・取引先等であり、また海外からの資金調達の実現性も乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	735,821	1,536,400
受取手形及び売掛金	2,827,469	2,617,652
電子記録債権	437,397	525,188
商品	1,092,238	883,370
未収入金	488,695	452,759
その他	71,128	50,304
貸倒引当金	△4,883	△4,074
流動資産合計	5,647,867	6,061,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,554,713	1,618,202
減価償却累計額	△1,663,400	△1,023,156
建物及び構築物（純額）	891,312	595,045
機械装置及び運搬具	288,334	214,260
減価償却累計額	△263,472	△179,007
機械装置及び運搬具（純額）	24,862	35,253
土地	1,122,057	711,383
その他	92,619	97,799
減価償却累計額	△87,181	△89,108
その他（純額）	5,438	8,690
有形固定資産合計	2,043,670	1,350,373
無形固定資産		
のれん	318,856	278,999
ソフトウェア	10,091	13,545
無形固定資産合計	328,948	292,545
投資その他の資産		
投資有価証券	363,043	345,254
出資金	215,351	218,921
繰延税金資産	126,159	109,602
その他	81,670	73,493
投資その他の資産合計	786,224	747,272
固定資産合計	3,158,843	2,390,191
資産合計	8,806,711	8,451,793

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,571,425	4,287,438
電子記録債務	164,268	99,928
賞与引当金	35,137	13,714
その他	190,459	205,772
流動負債合計	4,961,290	4,606,853
固定負債		
退職給付に係る負債	318,706	305,225
その他	39,231	42,694
固定負債合計	357,937	347,920
負債合計	5,319,228	4,954,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,381,052	2,381,052
資本剰余金	782,473	782,473
利益剰余金	658,008	663,901
自己株式	△238,705	△238,756
株主資本合計	3,582,829	3,588,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△96,116	△92,423
その他の包括利益累計額合計	△96,116	△92,423
非支配株主持分	770	772
純資産合計	3,487,483	3,497,019
負債純資産合計	8,806,711	8,451,793

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	15,748,604	13,224,906
売上原価	13,639,632	11,566,226
売上総利益	2,108,972	1,658,680
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	751,333	572,034
賞与引当金繰入額	33,889	12,128
退職給付費用	38,290	38,981
減価償却費	48,304	47,059
運賃	369,729	331,190
その他	713,143	652,782
販売費及び一般管理費合計	1,954,690	1,654,176
営業利益	154,281	4,503
営業外収益		
受取利息	13	5
受取配当金	19,823	20,496
設備賃貸料	7,631	7,631
貸倒引当金戻入額	—	808
保証債務取崩額	—	607
助成金収入	—	145,208
その他	4,009	4,949
営業外収益合計	31,478	179,706
営業外費用		
手形売却損	5,074	5,585
支払手数料	2,000	2,000
持分法による投資損失	44	41
休業手当	—	157,837
その他	694	1,770
営業外費用合計	7,813	167,234
経常利益	177,947	16,976
特別利益		
固定資産売却益	—	46,949
投資有価証券売却益	—	43,862
受取保険金	118,069	—
特別利益合計	118,069	90,812
特別損失		
固定資産除却損	100	—
固定資産売却損	—	8,710
災害による損失	113,324	—
特別損失合計	113,424	8,710
税金等調整前当期純利益	182,591	99,078
法人税、住民税及び事業税	80,277	43,146
法人税等調整額	△1,054	16,556
法人税等合計	79,223	59,703
当期純利益	103,368	39,374
非支配株主に帰属する当期純利益	0	1
親会社株主に帰属する当期純利益	103,368	39,372

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
当期純利益	103,368	39,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59,475	3,692
その他の包括利益合計	△59,475	3,692
包括利益	43,893	43,067
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	43,892	43,065
非支配株主に係る包括利益	0	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,381,052	776,560	587,798	△261,848	3,483,563
当期変動額					
剰余金の配当			△33,158		△33,158
親会社株主に帰属する当期純利益			103,368		103,368
自己株式の取得				△809	△809
自己株式の処分		5,913		23,951	29,865
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	5,913	70,210	23,142	99,265
当期末残高	2,381,052	782,473	658,008	△238,705	3,582,829

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△36,641	△36,641	770	3,447,692
当期変動額				
剰余金の配当				△33,158
親会社株主に帰属する当期純利益				103,368
自己株式の取得				△809
自己株式の処分				29,865
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△59,475	△59,475	0	△59,475
当期変動額合計	△59,475	△59,475	0	39,790
当期末残高	△96,116	△96,116	770	3,487,483

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,381,052	782,473	658,008	△238,705	3,582,829
当期変動額					
剰余金の配当			△33,479		△33,479
親会社株主に帰属する当期純利益			39,372		39,372
自己株式の取得				△51	△51
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	5,893	△51	5,841
当期末残高	2,381,052	782,473	663,901	△238,756	3,588,671

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△96,116	△96,116	770	3,487,483
当期変動額				
剰余金の配当				△33,479
親会社株主に帰属する当期純利益				39,372
自己株式の取得				△51
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	3,692	3,692	1	3,694
当期変動額合計	3,692	3,692	1	9,536
当期末残高	△92,423	△92,423	772	3,497,019

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	182,591	99,078
減価償却費	70,589	69,318
のれん償却額	39,857	39,857
貸倒引当金の増減額（△は減少）	336	△808
株式報酬費用	6,636	9,954
賞与引当金の増減額（△は減少）	△8,387	△21,423
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1,396	△13,480
受取利息及び受取配当金	△19,837	△20,501
助成金収入	—	△145,208
休業手当	—	157,837
持分法による投資損益（△は益）	44	41
固定資産売却損益（△は益）	—	△38,239
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△43,862
受取保険金	△118,069	—
固定資産除却損	100	—
売上債権の増減額（△は増加）	878,411	122,026
たな卸資産の増減額（△は増加）	△295,895	208,867
未収入金の増減額（△は増加）	△3,704	69,205
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△16,389	21,188
その他の固定資産の増減額（△は増加）	△255	△3,390
仕入債務の増減額（△は減少）	△584,261	△348,326
未払金の増減額（△は減少）	△537	123
未払消費税等の増減額（△は減少）	△18,807	77,497
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△48,605	△31,272
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△3,700	△14,000
小計	61,514	194,483
利息及び配当金の受取額	19,837	20,501
助成金の受取額	—	117,181
休業手当の支払額	—	△157,837
保険金の受取額	118,069	—
法人税等の還付額	1,880	1,880
法人税等の支払額	△68,606	△77,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	132,694	98,292
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,839	△62,037
無形固定資産の取得による支出	△8,710	△7,880
有形固定資産の売却による収入	—	748,820
投資有価証券の取得による支出	△18,990	△34,445
投資有価証券の売却による収入	—	93,422
貸付けによる支出	—	△250
貸付金の回収による収入	344	186
敷金の差入による支出	—	△2,121
敷金の回収による収入	—	226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,196	735,920
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△811	△53
配当金の支払額	△28,669	△28,909
リース債務の返済による支出	△2,835	△4,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,316	△33,634
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	47,181	800,578
現金及び現金同等物の期首残高	688,640	735,821
現金及び現金同等物の期末残高	735,821	1,536,400

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数

2社

連結子会社の名称

関東流通(株)

ファイビストオフィス(株)

2. 持分法の適用に関する事項

すべての関連会社に持分法を適用しております。

持分法適用関連会社の数

1社

持分法適用関連会社の名称

(株)未来戦略研究所

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

なお、上記に記載されている項目以外の事項につきましては、最近の有価証券報告書(2020年6月29日提出)における記載から重要な変更がないため、開示を省略しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、洋紙卸売事業を主な事業として活動を展開しております。なお、「洋紙卸売事業」、「不動産賃貸事業」、「物流事業」を報告セグメントとしております。

「洋紙卸売事業」は、洋紙の印刷会社及び出版会社等への卸売り販売を行っております。「不動産賃貸事業」は、不動産の賃貸を行っております。「物流事業」は、主に洋紙の保管・加工・配送業務を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	洋紙卸売事業	不動産賃貸 事業	物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,618,998	43,873	85,732	15,748,604	—	15,748,604
セグメント間の内部売 上高又は振替高	390	78,000	244,028	322,418	△322,418	—
計	15,619,388	121,873	329,760	16,071,022	△322,418	15,748,604
セグメント利益	398,891	42,102	24,076	465,070	△310,788	154,281
セグメント資産	4,830,044	1,641,329	335,663	6,807,037	1,999,673	8,806,711
その他の項目						
減価償却費	12,825	50,742	1,820	65,388	5,201	70,589
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	15,670	9,569	600	25,839	8,710	34,549

（注）1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△310,788千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額1,999,673千円は、本社管理部門に対する債権の相殺消去△799,927千円、各報告セグメントに配分していない全社資産2,799,601千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社預金等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額8,710千円は、本社その他の設備投資額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	洋紙卸売事業	不動産賃貸 事業	物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,109,110	43,352	72,443	13,224,906	—	13,224,906
セグメント間の内部売 上高又は振替高	355	78,000	206,544	284,899	△284,899	—
計	13,109,466	121,352	278,988	13,509,806	△284,899	13,224,906
セグメント利益	255,186	40,818	26,036	322,041	△317,537	4,503
セグメント資産	4,485,116	932,600	359,872	5,777,589	2,674,204	8,451,793
その他の項目						
減価償却費	8,781	51,697	1,769	62,247	7,071	69,318
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	20,155	53,548	—	73,703	16,170	89,873

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△317,537千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,674,204千円は、本社管理部門に対する債権の相殺消去△728,362千円、各報告セグメントに配分していない全社資産3,402,566千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社預金等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16,170千円は、本社その他の設備投資額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

項目	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
1株当たり純資産額	5,207円25銭	5,221円58銭
1株当たり当期純利益	154円87銭	58円80銭

- （注） 1. 当潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	103,368	39,372
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	103,368	39,372
普通株式の期中平均株式数（株）	667,465	669,582

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

品目別売上高

（重量、金額は単位未満切捨て）

品目別		前連結会計年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日		当連結会計年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日		増減	前連結会 計年度比 (%)
			構成比 (%)		構成比 (%)		
印刷用紙	重量 (トン)	72,225	72.2	58,437	69.2	△13,788	80.9
	金額 (千円)	10,350,628	65.7	8,227,675	62.2	△2,122,953	79.5
情報用紙	重量 (トン)	27,847	27.8	25,951	30.8	△1,896	93.2
	金額 (千円)	5,017,505	31.9	4,684,428	35.4	△333,077	93.4
その他	金額 (千円)	380,471	2.4	312,803	2.4	△67,668	82.2
合計	重量 (トン)	100,072	100.0	84,388	100.0	△15,684	84.3
	金額 (千円)	15,748,604	100.0	13,224,906	100.0	△2,523,698	84.0

（注）「その他」は不動産賃貸、保管、加工及び配送等による収入額を記載しております。